

中国ビジネス

田端 弘道

配当年次	2年次	配当学期	1学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	
	実践知識	◎ 中国ビジネスに関連する専門的知識を身につける。
技能	分析解決技能	
	実務技能	
	新規事業技能	
態度	倫理観態度	
	企業変革態度	○ 中国ビジネスを事業の成長につなげる視点を身につける。
	地域リーダー態度	
	国際協調態度	○ 中国市場の特性やビジネス習慣を理解し、国際的にビジネスを推進できる。

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

中国ビジネス

授業の概要

中国はまだまだ魅力ある市場であると共に世界への生産基地である。ここ最近ではチャイナリスクが現実味を帯びて囁かれるようになってきたが、このリスクを乗り越えればビジネスチャンスがある訳である。本講義はゼロから中国市場に取り組み、生産、販売の事業で成功したモデル企業を題材に多くのビジネスモデルを通して検証する。中国で駐在し経験した立場から、また中国に留まらず米州、欧州、アジアでの経験からグローバルビジネスの考え方を伝授したいと考える。

教科書

特に設定はしない。
必要に応じてプリントを配布する。

参考書

事例に関する図書を授業で紹介する。

授業計画・内容

1. イントロダクション (講義内容の構成)
2. 中国事業の歴史と展開
3. 成功要因 (販売チャネル、ブランド戦略)
4. 成功要因 (統括会社、ローカル人財)
- 5、6. 他社事例
- 7、8. ブレーンストーミング
9. 販売戦略 (商慣習、アフターサービス)
10. マーケティング (広告宣伝)
11. 危機管理 (知的財産、カントリーリスク)
12. 製造拠点の考え方 (地産地消)
- 13、14. グローバルビジネス
15. まとめ、総合討論

成績評価の方法

1. 授業への参加姿勢 (30%)
 2. 課題に対するレポート (40%)
 3. 授業中の課題に対する回答の考え方 (30%)
- 上記1～3を基に総合的に評価する。

事前・事後学習の内容

事前にプリントを配布するので事前学習として読み込んで来る事。
事後については課題に対するレポートの提出。

履修上の注意 中国ビジネスに関する知識の有無は前提としない。
グローバルビジネスの感覚を身に付けようとする意欲は必須。

**担当者からのメ
ッセージ**

キーワード 中国ビジネス
国際ビジネス
グローバル